

・ H ・ A ・ L ・ F ・ & ・ H ・ A ・ L ・ F ・
Masa Sumidé



今回のニューCD"HALF & HALF"は、アップテンポ7曲、スローテンポ(バラード)7曲、全14作品を収録しています。そして、アップ/スローが2曲ずつ交互に並べられていて、まさにタイトル通り「ハーフ&ハーフ」の作りになっています。

「半分・半分」とは、明⇄暗、表⇄裏、すなわち背中合わせて支え合う関係という含みで、その両極端の曲調がもたらすコントラストをテーマにしています。

全体の作風としては、マニアック過ぎず、シンプル過ぎず、こちらも「ハーフ&ハーフ」の気分で仕上げました。候補作品の中から選曲するにあたり、どちらにするべきか迷った時は、ためらわずにメロディーを優先しました。よって、これまでのCDよりも、全体的に親しみやすい感じになっているかと思います。

また、コントラストを活かすために曲順にもこだわりました。デジタル・オーディオ・プレーヤーに入れると、自由にシャッフルができ、曲順の意味合いが薄れますが、できれば収録順に聴いていただければ幸いです。

末尾になりましたが、Slice of Life Recordsの松岡ひであき氏に心から感謝いたします。このCDのコンセプトにご賛同いただき、快く出版を引き受けてくださいました。加えて、各収録曲に対するコメントも届けてくださいました。僕の簡単な曲紹介に続いて掲載されています。

この"HALF & HALF"が、皆さまの「心」、そして「耳」に未永く残っていくことを願ってやみません。

2012年3月吉日

Masa Sumidé

1. Golden Sunrise [チューニング: DADG^bBE]

初めて、自分が日本人、アジア人であるということを強く意識しながら作った曲。自分の音楽のさらなる可能性を探るという意味もあります、この作品が新しい“日の出”となれば、という期待もあります。

ということで、これまでのCDと全く違うオープニング・ナンバーに、「おや?」と思われる方が多いかもしれません。

アジアの香り豊かなバラード作品。Masa Sumideの新たな魅力も感じるオープニング・ナンバーだ。そのゆったりとしたメロディーが貴方をニュー・アルバム『HALF & HALF』の世界へ優しく誘う。

2. With You By My Side [チューニング: スタンダード]

好きな人が側にいて、好きな音楽がゆっくりと流れていく...そこには言葉はいらないかもしれません。そんな甘い空気が流れる絵を思い浮かべながら作曲しました。

恋人たちが寄り添い合いながら、静かに時を過ごす。そんな雰囲気も感じられるバラード作品。いきなり主メロから入るのではなく、イントロとして加えられた趣味の良い短いフレーズにも住出さんのセンスの良さが表れている。

3. Into The Fire [チューニング: DADGBE]

危険に立ち向かっていくスリル感を表現した曲。廃盤になったCD "Cool Exposure" (2000年)に収録されていた"Legitimate Affair"をアレンジし直して、改題しました。

12年前にリリースされたアルバムに収録された作品に「今のMasa Sumide」の息吹きを注ぎ込み、新たなアレンジで再録音した曲。ヒッティングによる重量感のあるベースに繊細なフレーズが絡む。スタカートを活かしたプレイも見事だ。

4. Chasing The Sun [チューニング: スタンダード]

「情熱」がテーマ。太陽は、まさに活力の源そのものです。それを追いかけていくイメージを、シャッフルのリズムに託しました。そして、キラキラとまぶしい感じをイントロ、間奏などのハーモニクス部分で表現しました。

強烈なアップビート(裏打ち)に乗ってダウンビート(表)で刻まれる主メロ・パート。住出さんのソングライティングの妙が興味深い。後半での転調やエンディングなど、終始エモーショナルに「太陽を追いかけ(Chasing the Sun)」いく様が表現されている。

5. What Is Love [チューニング: DADG^bD]

「愛とは?」という重い問いかけがテーマです。結果的に哀しいメロディーになりましたが、これも愛のひとつの側面ではないかと感じています。

DADGADの2弦のみを半音上げたチューニングで奏でられる物哀しくも美しい旋律。こういうメロディーを書かせたらピカイチの住出さんである。それは心の一番深いところから自然に表出されてくるピュアな感情の発露に違いない。そこに住出勝則というミュージシャンの純粋さ、彼の人間性を感じるのである。

6. Something Blue [チューニング: スタンダード]

タイトルから想像できるようにブルース系の作品ですが、でしゃばった感じではなく、一歩引いたクールなイメージで作りました。

どんな音楽スタイルでもギター1本で難なく弾けてしまう住出さんだが、スロー・ブルース・チューンには格別の味わいがある。この作品もその1つ。いとも簡単に聴く者の心を鷲掴みする。

7. Cool Drive [チューニング: スタンダード]

作曲中、「前へ前へところがるイメージ」が頭の中から離れませんでした。けっしてスピードは速くはないのですが、心地よい動き・流れ、そしてドライブ感を出したかった。

演奏のテンポが良いから、そのアレンジに不自然さが無くスッキリしているから、実際のスピードより速く感じてしまう。こういう作品は、心地よいギターの調べに身を委ねて聴くのが一番。エンディングにキメるチョーキングのカッコ良さといったらナイ。

8. Love At First Bite in Hong Kong [チューニング: スタンダード]

香港のあるレストランで食べた鶏肉料理の美味しさに感激し、「これはギターで表現しないと!」と本能のままに書き上げた曲。タイトルは、「ひと目ぼれ」(love at first sight)にちなんで、「ひと味ぼれ」(love at first bite)としました。思えば、初めて「鶏肉」に捧げた曲でもあります(笑)。

このリズム、このノリでミス無く弾き終えることは並みのギタリストにはまず無理。一聴すれば、そうと分かる超難曲だ。でも、この曲の住出さんのプレイからは楽しみながら嬉々として演奏している、そんな雰囲気一杯。サスガである。ところで「ひと口食べただけで住出さんが夢になってしまったほどの鶏肉料理」いつか私も食べてみたい。

9. Message in a Bottle [チューニング: スタンダード]

瓶の中に自分の想いを差し入れて海へと放つ。なんとロマンチックな行為でしょう! そして、いつの日か、思いもよらぬ場所にたどり着いて、誰かの心に触れる...そんな“夢の旅”を僕なりにメロディーにしてみました。

これもアジアン・テイスト溢れる佳曲。何とも穏やかな温かさに溢れたメロディーだ。左手のコード・フォームそのままスライドさせて紡がれるフレーズも美しい。

10. One Lonely Night [チューニング: DADFAD]

誰にでも、たまたま寂しくなる夜があると思います。理由は様々なのですが、そんな寂しい気分をそのままマイナー・ブルースのメロディーに乗せて表現してみました。

ハーモニクスを上手くメロディーに溶け込ませたスロー・バラード。住出さんならではの表情豊かなチョーキング・プレイが素晴らしい。DADGADの3弦のみを1音下げたDADFADチューニングでの演奏。

11. Holiday

[チューニング: スタンダード]

誰もが休日、休暇は明るく楽しく過ごしたい(!)と思いますよね。そんな弾んだ心中を曲にしてみました。構成的には、前半のマイナーからサビ部分でメジャーに展開するところがミソです。

軽快に飛ばす、飛ばす。この曲も本作に収められた難曲中の難曲だろうが、ノリノリで繰り広げられる多彩なソロ・リックスの数々が何とも気持ち良い。

12. Close Is Enough

[チューニング: DADGAE(2カポ)]

僕の苦手な、故・チェット・アトキンス系のピッキングの曲。左手より右手のコントロールが試されます。タイトルには、「まあ、完璧な演奏は無理なので、少しでも近づければ十分」という気分(言い訳?)が込められています。

ミスター・ギター、チェット・アトキンスへの深い敬意も込めて「チェット・スタイルのギター奏法、実は苦手なんです」と公言する住出さん。そうは言いつつ、この曲でもオーソドックスなギャロッピング・スタイルにはないフレージング、住出さんならではのギター・アレンジでひと味もふた味も違う「チェット風」をきっちり表現してみせる。真のプロ・アーティストが口にする「謙遜」や「照れ」とは、本来そういうものなのだと思う。

13. Precious Moments

[チューニング: DADGAD]

皆さんにとって「貴重な時間、大切な時間」って、どんな時でしょうか？この曲は、そんな“ひととき”をテーマにしています。廃盤になった“Shadow Dancer”(2001年)からの再アレンジ、再録音。僕にはめずらしく、クラシックの香りがします。

心打つ切ないメロディー。解放弦を上手く取り入れたフレーズの組み立てが見事。

14. Joie De Vivre

[チューニング: スタンダード]

タイトルは「生きる喜び」という意味。2011年は天災に苦しめられた年で、あらためて「生」について深く考える時でもありました。そして、けっして自分は「ひとり」ではなく、温かい手を差し伸べてくれる人たちがいる、ということも再確認させてくれました。僕からの「人生賛歌」です。

シャンソンっぽい流れるようなクールな主題メロに続いてエネルギー溢れる情熱的なリックス、フレージングが展開され、再びゆったりとしたメロディーへ。主題メロに戻る前の隠し味ともいえるマシンガンのような連打ベースのカッコ良さ。シャレたエンディング。最後の最後まで住出さんらしさが感じられる粋なプレイである。



住出勝則 ニューCD "ハーフ & ハーフ"

発売日: 2012年3月21日

価格: 2,625円(税込)

レーベル: スライス・オブ・ライフ (Slice of Life Records)

本CDは「プー横丁」の通販、店頭でお買い求めいただけます。お問い合わせ、ご不明な点など、ご遠慮なくご連絡ください。

電話: 075-231-3835 / ファクス: 075-212-6064

Eメール: info@poohyokocho.com

営業時間: 11:00am ~ 7:00pm(日/祝日定休)

ホームページ: <http://shop.poohyokocho.com/>

住所: 京都市中京区亀屋町 307-1-501

This CD is available through POOH YOKOCHO.

Please feel free to contact them for placing an order or for more information.

E-mail: slice@h6.dion.ne.jp

Business hours: 11:00am - 7:00pm

Closed on Sundays/national holidays

Website: <http://www.h2.dion.ne.jp/~slice/pooh/sumideenglish.htm>

Address: P.O. Box 61, Nakagyo, Kyoto 604-0941, Japan

